

公明党議員会「議案第 18 号令和 3 年度宇都宮市一般会計予算」賛成討論

公明党議員会の渡辺通子です。議案第 18 号令和 3 年度宇都宮市一般会計予算につきまして、公明党議員会を代表し、賛成の立場から討論を行いたいと思います。

現在、世界において新型コロナウイルス感染症という大きな困難に直面しており、我が国においても、景気の急速な悪化など、社会・経済両面に甚大な影響を受けております。

また、少子・超高齢化による人口減少、社会保障費の増大、さらには地球温暖化による大規模災害の発生など、幾多の大きな課題が山積しております。

このような中、新年度において、本市が掲げる施策や事業を円滑に遂行するための、当初予算案が編成されるに当たり、私ども公明党議員会では、コロナ対策と社会・経済活動の両立を図りながら、多様化する市民ニーズに的確に対応するとともに、52万市民の希求する、生活者重視の施策を着実に実行し、本市が持続的に発展できるまちづくりを推進するため、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」、「防災・減災対策の一層の強化」、「ネットワーク型コンパクトシティの推進」、「子育て支援事業の拡充と健康・福祉の充実」、「教育の充実と生涯にわたる学習活動の促進」、「地域経済の活性化」、「環境の未来都市実現」、「ICT化の推進でスーパースmartシティの構築」の重点8分野73項目を含め、合計175項目の要望を取りまとめ、昨年10月、市長に申し入れを行いました。

市長の今定例会の施政方針におきまして、新年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会・経済活動の両立に、引き続き、最優先で取り組むことや、自然災害の被害に備えるため、策定を進めている「(仮称)総合治水・雨水対策推進計画」に基づき、総合的な治水・雨水対策をより一層強化する方針が発表されました。

また、こうした喫緊の課題に取り組みながら、本市が目指すネットワーク型コンパクトシティの形成を着実に推進するため、誰もが移動しやすい環境の整備をはじめ、中心市街地の活性化や地域拠点の形成を進めることや、「スマートシティ」の取組をより身近な分野に拡充するため、先進技術を効果的に活用するとともに、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができる「スーパースmartシティ」を実現していくことなどが表明されました。

この方針のもと、編成された当初予算案につきましては、市税収入が大幅に減収する中であっても、これまで培ってきた財政力を遺憾なく発揮し、市民の生命や暮らしを守ることを第一としながら、将来にわたる成長力を確保するため、市債と基金を最大限かつ効果的に活用されたことにつきましては、市民が、豊かで幸せに生活できるまちの実現に対する、市長の揺るぎない決意を強く感じるどころであり、私たち公明党議員会といたしましても、高く

評価するところであります。

特に、LRT整備事業につきましては、本年1月に、開業の1年延期と事業費の大幅な増加が公表され、その内容は、施設や利用者の安全性向上のために欠かせない事案が多いと理解する反面、順調に進んでいると思っていた市民にとって、唐突な発表であったことから、疑問を持たれる方も多くおられることも事実であります。

今定例会においても、我が公明党議員会を含め、多くの議員が一般質問をされましたが、LRT工事の進捗状況についての私の質問に対し、「2月末現在で、事業面積全体の約96%の土地について、全権利者の約91%の方々と土地売買などの契約を締結しているなど、着実に進捗していること」が確認できたとともに、「令和5年3月の開業を目指し、取り組んでいく」との力強い決意を伺うことができました。

LRT事業につきましては、総合的な公共交通ネットワークの要として、必要不可欠な都市の装置であると、私たち公明党議員会も考えておりますので、引き続き、市民の皆様には、まちづくりの効果などとあわせて、分かりやすく丁寧に説明していただき、令和5年3月の開業に向けて、全力で取り組んでいただけるものと期待しております。

また、子どもの家事業につきましては、一部の指定管理者において、4月1日からの開設が非常に困難であることが判明しましたので、苦渋の決断ではありましたが、3月15日に開催された、総務及び文教国体常任委員会におきましては、反対の立場を表明したところであります。

その後、2度の議員協議会の中で、この指定管理者の指定を取り消すとともに、各宮っ子ステーション推進委員会による業務継続の意向が示され、4月1日からの確実な運営体制の確保が確認できたことなどの説明がありました。

子どもの家の運営に当たって、本市が最も重視すべきことは、事業を必要とする児童、そして、保護者にとって、安心して利用できる事業になっているかどうかという点にあると考えておりますので、利用者や地域の声を聞きながら、適宜、必要な支援・指導に努めていただくことを要望し、本日、市長からの修正された当初予算案については賛成とさせていただきます。

以上、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と、社会・経済活動の両立に取り組むとともに、第6次宇都宮市総合計画に掲げる、6つの「未来都市」の具現化に向けての施策・事業に、優先的・重点的に取り組み、本市が持続的に発展できるまちづくりに、大きく寄与する当初予算案につきましては、議員各位のご賛同をお願い申し上げ、賛成討論を終わります。